



輝く 厚木の 若者たち

若い力で
まちを
元気に!

【厚木スマイルダイニング】
有志団体「チームキャラフル」が企画した食のイベント（8月25・26日、9月1・2日に開催）。「美と健康」をテーマに厚木の名産を使ったフルコースを考案し、市内のレストランで提供した。料理の人気投票など参加型の催しも実施。ナンバーワンに輝いた「厚木の米とナスを使用した豆たっぷりリゾット」は、店のレギュラーメニューに採用された。

「地元の野菜を使った料理の味はいかがですか。笑顔あふれる会場で、若者たちが来場者をもてなす。この夏、「厚木スマイルダイニング」と題したイベントが開催された。仕掛けたのは「チームキャラフル」。市内の若手社会人らでつくる有志団体だ。イベントでは地元の食材をふんだんに使ったフルコースを提供。来場者と交流しながら厚木の食の魅力をPRした。「産業のまち」として、多くの企業が集まる厚木市。チームキャラフルは、企業間の垣根を越えて団結し、若者の力でまちに元気を与えようと精力的に活動している。個性輝くチームの活動を追った。《4・5面に続く》

目次	2面	災害時の支援体制を強化	3面	第4次行政改革の実施結果	4・5面	輝く厚木の若者たち	6～9面	未来を担う技術者たち	10・11面	タウンガイド
		「災害時要援護者支援制度」の充実を目指し、個別支援計画を作る取り組みが始まりました。		市民満足度の高い行政サービスを目標として実施した第4次行政改革の結果をお知らせ。		若い力でまちを元気にしようと、4か月にわたって奮闘した若者たちの活動を紹介します。		研究開発施設が集積する厚木。その中でひととき輝く3人の技術者たちに迫りました。		講座・催し・募集・子育てなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。

トピック 地域福祉

地域の助け合いで暮らしに安心を 災害時の支援体制を強化

高齢者や障がい者など、災害時に自力で避難することが困難な方を支援する「災害時要援護者支援制度」。さらなる充実に向け、市では民生委員や自主防災隊と連携し、個別支援計画の作成を始めました。災害時の支援を強化し、安心して暮らせるまちづくりを進めます。



民生委員（左）と自治会長（中央）などが連携して要援護者の情報を把握

市が平成19年に開始した「災害時要援護者支援制度」は、いざという時に要援護者（右下欄参照）を地域全体で支援する仕組みです。市は、要援護者からの申請を受けると、住所や緊急連絡先などの情報を台帳に登録。個人情報管理を徹底した上で、地域住民の相談に応じる民生委員や自治会ごとに組織する自主防災隊と情報を共有しています。

8月末現在の登録者数は5144人。災害時には、台帳の情報を基に避難場所への誘導や必要な支援を実施します。

まず（左下欄参照）。
■ 実情に合わせた支援計画
 災害時などに効果的な支援を実施するためには、個々に異なる要援護者の情報をより詳細に把握することが必要です。市では9月から、自主防災隊連絡協議会、民生委員児童委員協議会と協力し、要援護者ごとに個別の支援計画を作る取り組みを開始しました。民生委員が中心となり、台帳登録者を訪問。同意を得た上で、障害の程度や生活の状況などを聞き取り個別計画を作成していきま

す。民生委員児童委員協議会会長の内山恭宏さん（70・愛甲）は「地域の実情に合った方法で、自主防災隊と協力して計画の作成を進めていきたい」と力強く話します。

地域のつながりが大切

昨年発生した東日本大震災では、住民同士の助け合いが多く命を救いました。「災害時には地域のつながりが大切」と強調するのは、上愛甲自主防災隊長の高澤和雄さん（63）。「支援が必要な方の情報をより詳しく知ること、自主防災隊も速やかに活動できる」

安心して暮らせるまちへ

いざという時に助け合うためには、住民同士の親睦を深めておくことが大切です。市では自治会や民生委員の皆さんと連携し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

と制度のさらなる充実に期待を寄せています。

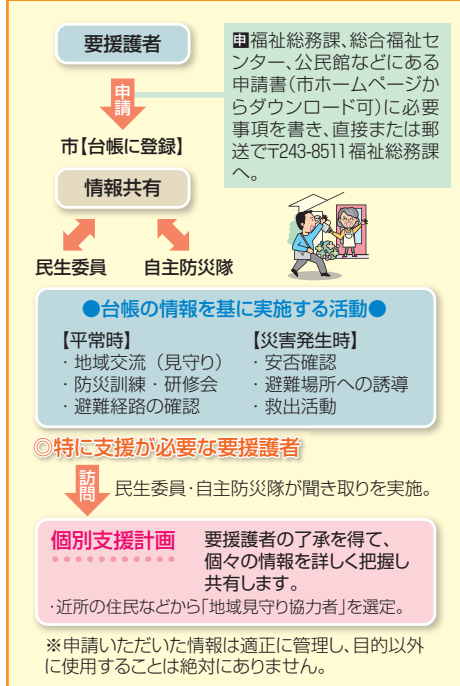
要援護者として登録している武田三サコさん（82・愛甲）は「地域の皆さんがいつも気にかけてくれているので安心です」とほほえみます。

要援護者とは

次のいずれかに該当し、民生委員や自主防災隊への情報提供に同意する方。市への申請が必要です。

- ①身体障害者（肢体不自由1・2級）
- ②視覚障害者（1・2級）
- ③聴覚障害者（2級）
- ④知的障害者（A判定）
- ⑤精神障害者（1級）
- ⑥高齢者（1人暮らし・寝たきり・認知症など）
- ⑦妊産婦、乳幼児、外国人（日本語の理解が困難な場合）など

制度の仕組み



ひとまち元気



厚木の魅力を発信するあゆこロちゃん

厚木市長
小林 孝良

澄み切った青空に秋の深まりを感じる10月7・8日に、恒例の「かながわフードバトル」を開催しました。ことは「あつぎスイーツランド」と県内のマスケットキャラクターが集う「かなキャラ大集合！」を同時開催。市内外から2日間で13万人もの方にご来場いただきました。

当日は、市のマスケットキャラクター「あゆこロちゃん」が厚木の食ブランドや観光資源をPRしてくれました。あゆこロちゃんは現在、全国のご当地キャラクターがインターネット投票で人気を競う「ゆるキャラグランプリ」に参加し、上位で奮闘しています。投票は11月16日まで毎日できますので、熱い応援をお願いします。

都市間競争が激しくなる中で都市の魅力を示すには、市の政策などを効果的に発信していくことが重要です。これからも「厚木ならではの」ブランドを育て、多くの人々が「行ってみたい」、「住んでみたい」と思うまちを目指していきます。



明るい笑顔が絶えないまちを目指していきます

トピック

行政改革

限りある財源を有効に活用 第4次行政改革の実施結果

市では、市民の皆さんにとって満足度の高い行政サービスを目指し、市の業務を見直す行政改革に取り組んでいます。平成21～23年度にわたり実施した第4次行政改革の結果をお知らせします。

市の財政は、経済状況の悪化や少子高齢化などにより、厳しい状況に置かれています。第4次行政改革では、効率的・効果的な行政運営に向け、経費削減と財源確保に取り組まれました。

重点指標と取り組み結果

市では改革の計画的実施に向け、具体的目標を数値化し、次の4つの重点指標を定めました。

- ① 市民満足度18%アップ
- ② 経常収支比率（財政の弾力性を示す数値）80%台堅持
- ③ 職員定数90人削減
- ④ 改革効果額110億円

指標を達成するために、34の事業を実施。補助金や委託料など事務事業の見直しでは60億8千万円、人件費の削減では20億2千万円、公共工事コストの縮減では18億円の効果を上げることができました（左図参照）。

その結果、重点指標である市民満足度が30.9%アップ（市民満足度調査の結果）、職員定数は1001人削減、

改革効果額は115億5千万円と、目標を大きく上回りました。

効果額をまちづくりに生かす

行政改革によって得られた効果額は、さまざまな事業の財源として有効に活用されました。

主な事業は、子宮頸がん予防ワクチンの助成や子ども医療費助成の拡大、斎場の建設、環境センターの改修など。住みよいまちづくりのために生かされています。

さらなる改革を目指して

市では、徹底的に無駄を削減するため、4月から第5次行政改革を実施しています。これまでの取り組みをさらに発展させることで、今後も市民の皆さんにより良い行政サービスを提供していきます。

行政経営課 ☎225局21160

行政改革の結果や、取り組み状況の詳細は市ホームページをご覧ください。

第4次行政改革の成果

改革効果額

115億5千万円

- ★事務事業の見直し（補助金、委託料など） → 60億8千万円
- ★人件費の削減 → 20億2千万円
- ★公共工事コストの縮減 → 18億円
- ★市営住宅跡地など未利用地の売却 → 2億5千万円
- ★広告掲載事業の拡大 → 9千万円

全34事業

活用した主な事業

健康予防医療の拡大、子ども医療費助成の拡大、子育て環境整備、斎場建設、環境センター改修など

市民協働推進委員会の委員を募集

市民協働推進条例の運用状況の点検などに取り組む委員を募集します。《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②他の付属機関などの委員でない③市の議員・職員でない④平日昼間に開催する会議（年3回程度）に出席できる一の全てを満たす方3人

《任期》2年間

《報酬》1日7,800円（交通費含む）

《申し込み》市民協働推進課にある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項と応募の動機（400字程度）を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで11月30日（必着）までに〒243-8511市民協働推進課 ☎225局2141・☎225局4612・e-mail=2800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。



市民の皆さんと行政が協力した地域づくりへ

条例説明会

日程	時間	会場
11月16日(金)	19時～	依知南公民館
11月17日(土)	10時～	市役所第二庁舎
11月19日(月)	19時～	荻野公民館
11月20日(火)	19時～	南毛利公民館

☎市民協働推進課 ☎225局2141

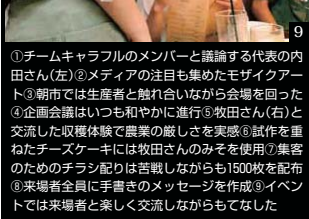
みんなで作る私たちのまち 市民協働推進条例がスタート

住みよいまちづくりのためには、市民の皆さんと行政の協働が大切です。それぞれが特長を生かすことで、大きな事業効果が期待できます。

市では、市民協働の基本ルールを定めた「市民協働推進条例」を10月11日に施行しました。条例では、市民協働を推進していくため、次のことなどを定めています。

- ① 市民協働の基本原則（市民協働を進める上でのルール）
- ② 市民の皆さんや市民活動団体の役割、市の責務（財政的支援や仕組みづくりなど）
- ③ 市民協働事業の推進（市民協働事業提案制度など）
- ④ 市民協働を推進するための市の取り組み（人材育成や推進体制の整備）

この他、市民協働のさらなる発展に向けた「市民協働推進基金」を設置。皆さんから頂いた寄付金は、市民活動団体への助成に活用します。市民協働が進むことにより、市民の皆さんの知識、経験、想像力がまちづくりに反映され、市民自治の推進につながります。条例への理解を深め、私たちの手で魅力あふれるまちをつくりましょう。



①チームキャラフルのメンバーと議論する代表の内田さん(左)②メディアの注目も集めたモザイクアート③朝市では生産者と触れ合いながら会場を回った④企画会議はいつも和やかに進行⑤牧田さん(右)と交流した収穫体験で農業の厳しさを実感⑥試作を重ねたチーズケーキには牧田さんのみそを使用⑦集客のためのチラシ配りには苦戦しながらも1500枚を配布⑧来場者全員に手書きのメッセージを作成⑨イベントでは来場者と楽しく交流しながらもなした

厚木マイルダイニングは、若者ならではの発想で飲食店に新たな店づくりやサービス提案し、店の顧客獲得とまちの活性化にむけたよう企画された。協力を得たレストランと地産野菜などを使ったメニューを考案し、市内の食材をPRするこも目的の一つだ。

メンバーたちは、メニューの開発をレストランのシェフらと進める一方で、イベントを楽しんでもらう企画を考えていた。思い付いたのは、料理の人氣投票。

会場はさまざまな年代の来場者で満席になった。そこには、地元食材をおいしく味わう来場者の笑顔があふれていた。

「頑張りついでにこうい」 「オーっ」。店内に響き渡る元気な掛け声。厚木マイルダイニングの熱気があふれていた。

チームキャラフルが初めて手掛けたのは、平成24年に市内で開催された「神奈川7日パト」でのモザイクアートの制作だった。2日間のイベント期間中に来場者の笑顔の写真を500枚を集め、巨大な「子」の笑顔を作成させた。入とつながつて生まれたエネルギーの大きさに経験したことがない興奮を覚えたという内田修平さん(28)は振り返る。

「食でまちおこしを志す若者は、自ら土に勢いを感じてほしい」と農作業の体験を提案した。後日、メンバーたちは牧田農園を訪ね、汗まみれになりながらトマトやジャガイモなどの収穫を手伝った。牧田さんから地産地消への思いを聞き、メンバーもまちおこしへの思いを語った。「まちを盛り上げよう」という熱い気持ちを持った若者を応援したいと、牧田さんはトマトやキュウリ、手作りのみそなどの提供を約束してくれた。

「頑張りついでにこうい」 「オーっ」。店内に響き渡る元気な掛け声。厚木マイルダイニングの熱気があふれていた。

「頑張りついでにこうい」 「オーっ」。店内に響き渡る元気な掛け声。厚木マイルダイニングの熱気があふれていた。

「若者が仲間とつながり個性を発揮できる場をつくること」を、まちを元気にしていきたい。チームキャラフルはそんな志を掲げる有志団体だ。

メンバーは週末の企画会議の合間を縫いメールなどを使って議論を重ねていった。企画の柱に据えたのは、厚木の名産を使ったメニューの提供。リーダーを務めた竹本裕史さんは「地元食材の良さを引き出すメニューを開発して、多くの人に食べてもらいたい」と目を輝かせた。

「頑張りついでにこうい」 「オーっ」。店内に響き渡る元気な掛け声。厚木マイルダイニングの熱気があふれていた。

「頑張りついでにこうい」 「オーっ」。店内に響き渡る元気な掛け声。厚木マイルダイニングの熱気があふれていた。

厚木マイルダイニングプロジェクトメンバー

 八田ゆかりさん(31)	 竹本裕史さん(27)
 鈴木大輔さん(29)	 御法川 藤子さん(25)
 浦野紗衣さん(20)	 加藤太一さん(30)
 野村翔さん(25)	 木下真菜美さん(20)

チームキャラフルを映像で紹介

チームキャラフルを特集した市広報番組「あつぎ元気Wave」をケーブルテレビと市ホームページで放映・配信します。

あつぎ元気Wave
11月1日～10日
①12:00～②19:30
③22:45～

想像できる 最高の製品を目指して 映像制作機器設計・越後谷俊太さん(29)

日本が誇る世界のトップ企業・ソニー株式会社。厚木テクノロジーセンターには多くの優秀な技術者が集まっている。映像制作用の機器を作る越後谷俊太さんその一人。ものづくりに情熱を注ぐ若きエンジニアの思いとは。



「自分で設計した製品が実際に動いた瞬間が、何よりの喜び」と話す越後谷さん。ソニー厚木テクノロジーセンター(旭町)が世に出す映像制作機器・スイッチャーの設計を手掛けている。入社したのは慶応義塾大学大学院を卒業した24歳の時。小さい時からものづくりに興味を持っていて越後谷さんにとって、ソニーへの入社は自然な選択だった。すでに現在の部署であるコンテンツクリエーション・ソリューション事業部に配属。当初はソニーがスイッチャーを作っていたことも知らなかったが、徐々に楽しさを見いだしていった。「この仕事は、から自分ですべて作れるところが好きなんです」と充実した表情で話す。

入社した時は慶応義塾大学大学院を卒業した24歳の時。小さい時からものづくりに興味を持っていて越後谷さんにとって、ソニーへの入社は自然な選択だった。すでに現在の部署であるコンテンツクリエーション・ソリューション事業部に配属。当初はソニーがスイッチャーを作っていたことも知らなかったが、徐々に楽しさを見いだしていった。「この仕事は、から自分ですべて作れるところが好きなんです」と充実した表情で話す。

「チームで達成する喜び」
スイッチャーを商品化するために、設計チームの中だけでなく、電気、ソフトウェア、メカニクスの3つのグループが重なり合っている。越後谷さんは電気グループでプロジェクトリーダーを務めている。20代から30代までの6人のエンジニアをまとめ、スイッチャーの基板やコントロールパネルと呼ばれる操作盤の製作を手掛ける。



スイッチャーの設計を手掛ける越後谷さん

スイッチャーは放送局やスタジオなどで使用され、複数台のカメラで撮影されている映像や音声を取り替える装置。カメラや映像の他、録音映像や緊急速報などの字幕も操作できる。入社した時は慶応義塾大学大学院を卒業した24歳の時。小さい時からものづくりに興味を持っていて越後谷さんにとって、ソニーへの入社は自然な選択だった。すでに現在の部署であるコンテンツクリエーション・ソリューション事業部に配属。当初はソニーがスイッチャーを作っていたことも知らなかったが、徐々に楽しさを見いだしていった。「この仕事は、から自分ですべて作れるところが好きなんです」と充実した表情で話す。

「製品に想像力」
「製品に携わっているという想像が広がってくる。今は想像力を鍛えている段階ですが、熟れたそれを一気に表現したい」と今後の抱負を話す越後谷さん。

「自分が想像できる全てが話まっている。そんなものが作れたら、ものづくりに関わるエンジニアとして本望です。その目は少年のように輝いていた。」

特集

未来を担う技術者たち あつぎからニッポン、そして世界へ。

食品化学学会から「第14回奨励賞」が贈られた。

「後世に味を残す」
味覚センサーは九州大学の産学共同で開発された。安食さんは、センサーの考案者である同大学の都甲潔教授(都)の言葉に感銘を受けた。「業績があるから人は同じ音楽を奏してもいいから、いつまでも残すことができる。味を残すために、度譜(の)のようなものがあれば、人間に味を共有するのと同じで、さういふまでも残すことができる人だ。」



日夜研究に励む安食さん

「世界で唯一の味の物質」
味覚センサーとは、人の五感の一つである味を計測するもの。人間の舌に似せた人工樹脂膜を使って、味を数値化している。計測できるのは酸味、苦味、甘味、塩味、うま味、渋味の6つで、それぞれ口当たりと後味の違うものも比較できる。これにより、リアルな「コク」や「キレ」までも数値化を表現できる。日数や温度による味の成分の変化を比べることで、賞味期限や消費期限などの算定基準にもなる。

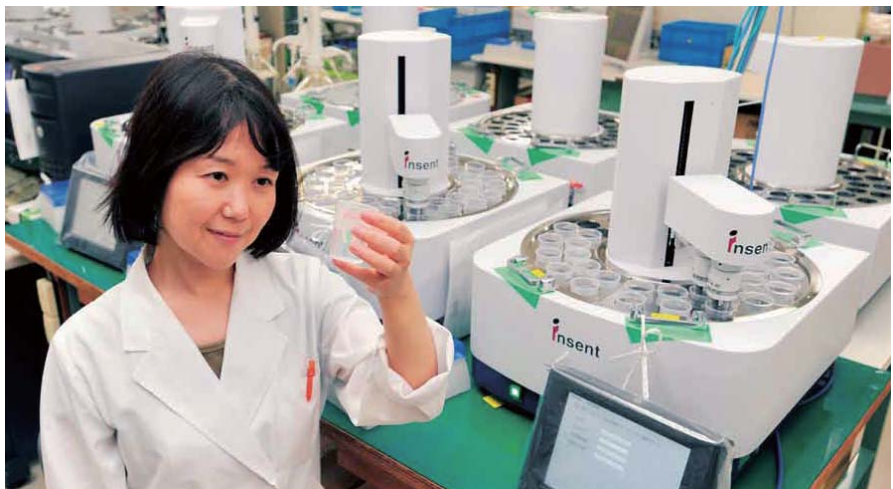
「味覚センサーの仕組み」
化学に興味を持ったのは高校生の時。実験の授業で「物質と物質を混ぜると全く別の物ができるとの不思議な結果」に出会った。そこから「なぜか」がきっかけだった。さらに帝京大学の修士課程で薬用植物園講座を選択。そこで薬学の面白さを知った。

「生業に生かしたい」
現在、味覚センサーの製品サポートの傍ら、生業の研究に精を出す安食さん。「厚生労働省が示す日本薬局方に生業の味の基準が記されているが、全生業の感覚によるもの。生業は天然物なので、物によって差が大きい。品質が一定の生業を患者さんに提供できるようにするには、数値で基準を示す必要がある」と強調する。

「生業に生かしたい」
現在、味覚センサーの製品サポートの傍ら、生業の研究に精を出す安食さん。「厚生労働省が示す日本薬局方に生業の味の基準が記されているが、全生業の感覚によるもの。生業は天然物なので、物によって差が大きい。品質が一定の生業を患者さんに提供できるようにするには、数値で基準を示す必要がある」と強調する。

味の「世界標準」を作るために 味覚を数値で示す研究者・安食菜穂子さん(41)

装置での計測や数値化はできないと思われてきた味覚研究の世界が一変した。株式会社インテリジェントセンサーテクノロジーが開発したのは、味覚センサーと呼ばれる味覚認識装置。味のメカニズムについて研究する安食菜穂子さんは、ことし6月に日本食品化学学会で第14回奨励賞を受賞した。



「厚木市には、多くの研究開発施設が集積し、世界の市場に通用する技術や製品を作り出している。市内で働く技術者・研究者の中からひとときを輝く3人の姿に迫った。」

「厚木市には、多くの研究開発施設が集積し、世界の市場に通用する技術や製品を作り出している。市内で働く技術者・研究者の中からひとときを輝く3人の姿に迫った。」

特集 未来を担う技術者たち



「安全」のための技術を追求したい

自動車部品設計・江崎隆也さん (34)

市内に2つの製造拠点を構える日立オートモティブシステムズ株式会社。自動車部品の開発、設計、生産などを担っている。製品の可能性を広げようと、設計に打ち込むエンジニア・江崎隆也さんに話を聞いた。



仕事への思いを語る江崎さん

「自分のアイデアが製品に反映されて世に出る。技術者冥利に尽きる瞬間です。自らの仕事の魅力について、そう話す江崎さん。恩名にある日立オートモティブシステムズの厚木事業所で、自動車部品の設計に携わるエンジニアの一人だ。

常々新たな設計を

江崎さんが設計しているのは、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)という製品。雨の日など滑りやすい路面でもタイヤがスリップしないようブレーキを制御するシステムで、自動車の安全走行の一端を担っている。現在の自動車にほぼ標準装備され、江崎さんが働く部署では製品の開発や改良などが続けられている。

江崎さんの仕事はABS製品の改良。生産性の向上やコストの削減につながる設計、取引先からの要望などの課題に取り組みつつ、製品の性能アップや小型化などにも挑んでいる。

消えなかった車への思い

入社9年目。市内の神奈川工

科大学を卒業後、いったんは富山県にある半導体関係の会社に勤めた。だが学生時代にのめり込んだ自動車部品の設計に対する思いは消えなかった。「やはり車に関わる仕事がしたい」。先に入社していた先輩の誘いもあり、転職を決めた。

ことし7月には技師に昇格。

設計だけでなく、製品の仕様変更などの際には部署間の意見の取りまとめや調整も任せられるようになった。

視野を広げるきっかけ

技術者の苦労は多い。自動車部品に限らず、製品を販売するまでには企画から設計、試作、生産、営業など多くの部署や人が関わる。設計部門は製品そのものの可能性を追求するため、生産部門から「この設計仕様では作れない」と言われるケースもある。

他の部署の考えや仕事を理解していないために、大変な思いをすることも多い。だが、江崎さんには視野を広げるきっかけとなり、今も仕事をする上で財

産になっているものがある。設計者はほとんど経験することのない「工場勤務の2年間」だ。

仕事を変えた経験

入社から2年目、応援という要素も強く設計本部から生産技術部に配属された。飯山の工場で、生産ラインの管理や設備の改善などに当たる毎日。戸惑いながらも、生産機械の仕組みや仕事のやり方など多くのことを学んだ。

「あの時の経験がなければ、今の仕事はできなかった。江崎さんは当時を振り返る。設計に戻り、「生産ラインで作れるか」ということをそれまで以上に念頭に置いて図面を引くようになった。部署を越えて人とつながったことで、調整などの仕事も円滑に進むようになった。

事故をなくすために

ABSは、数ある自動車部品の中でもより高い安全性が求められる重要な装置だ。不具合が出れば事故に直結する可能性があり、常に確実で正確な動作が求められる。江崎さんも「安全性と新たな仕様の両立が最も難しい」と口にする。

「人の命を左右するものだという意識もあるし、常に緊張感を持って仕事をしている」と真剣な表情で話す江崎さん。安全性を保ちながら新たな製品を作るといふ使命にプレッシャーを感じながらも、「だからこそ打ち込みがいがある」。

「事故をゼロにするためのものづくりを追求していきたい」と夢を語る江崎さん。若き技術者の挑戦に期待が膨らむ。

—優れた技術者や研究者が厚木に集まる理由は。

野田 昔から優れた技術者はいましたが、30年ほど前に森の里地区を「研究学園都市」として開発したことが大きいですね。研究所や大学が立ち並び、技術者・研究者が集まりました。

—企業が厚木に進出する優位性は何でしょうか。

野田 何といっても立地が優れていることです。神奈川県を中心にあり、山や川など自然環境にも恵まれています。古くから街道が通り、人が集まるまちでした。さらに昭和43年の東名厚木インターチェンジの開通で交通の便が良くなり、一気に産業の拠点になったわけです。

—企業が進出することによる市民にとってのメリットは。

野田 一番は地域の経済が潤うこと。厚木に来た企業が開発や



最先端の技術を世界に発信 ものづくりのまち・厚木

市内の産業集積は県内でも有数の規模を誇り、優れた技術者・研究者が日々その成果を競い合っています。ものづくり産業が市内に集まった背景や今後の展望について、株式会社浜銀総合研究所・顧問の野田幹雄さんにお聞きしました。



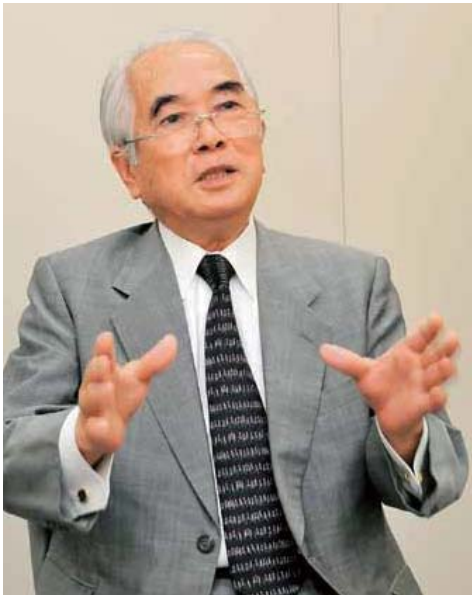
生産などで投資活動を展開すれば、市内でビジネスが生まれる。雇用創出や税収の増加にもつながります。まちが豊かになれば、手厚い行政サービスが受けられるようになります。

—来年、さがみ縦貫道路・圏央厚木インターチェンジが開通します。

野田 大きな影響があるでしょう。高速道路の物流において、厚木はもはや神奈川県を中心を超えて日本の中心になる。これまでに以上に企業が進出しやすい環境になります。ただ、それは近隣都市にとっても同じです。都市間競争の中で、行政も知恵を絞っていかねばなりません。

—最後に、産業や経済的な側面から今後の厚木にどのような展望をお持ちですか。

野田 厚木は昼夜間人口比率（※1）が114・9%。多く



豊かな自然も魅力の一つと語る野田さん

の人が働きに通う活力あるまちです。人口の平均年齢も若く、全国的に見ても恵まれた都市です。現在わが国は経済的に厳しい状況にありますが、厚木には圏央道の開通や「さがみロボット産業特区」(※2)の話題など

(※1) 昼夜間人口比率 (※2) 夜間人口100人当たりの昼間人口の割合。

(※2) 「さがみロボット産業特区」(仮称) 生活支援ロボットの実用化や普及に向けことし9月に県が申請。厚木市は高齢者の歩行などを助ける介護・医療用ロボットの開発地区に位置付けられている。

活躍する技術者を映像で紹介

ものづくりの現場で活躍する技術者を紹介した市広報番組「あつぎ元気Wave」をケーブルテレビと市ホームページで放映・配信します。

あつぎ元気
チャンネル
(11ch)

11月11日～20日
①12:00②19:30
③22:45～



明るい兆しがあります。研究開発や生産・物流など、あらゆる面で発展が大いに期待できます。

卓越した技術を誇る50社を1冊に

あつぎものづくりブランド2012

技術や製品など、さまざまな分野で活躍する市内企業50社や市内5大学を紹介する冊子「あつぎものづくりブランド2012」が完成しました。次の公共施設で配布していますので、ぜひご覧ください。市ホームページでも公開中です。

《配布場所》

市政情報コーナー、中央図書館、勤労福祉センター、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所



あつぎものづくりブランド

産業振興課 ☎225局2830

あつぎものづくりブランド

あつぎからニッポン、そして世界へ。

市では、市内の優れた産業集積を都市の「ブランド」の一つとして捉え、地域経済の成長を図りながら市の魅力を全国に発信する「あつぎものづくりブランディング事業」を進めています。市内の産業や働く人の姿を知り、市に誇りと愛着を持っていただけるよう、厚木のものづくりの力を「ブランド」として育てていきます。

- ◆新しい都市ブランドの創造
- ◆市内企業支援・経済活性化
- ◆事業拡大・企業誘致の促進
- ◆厚木市への誇りと愛着



産業振興課 ☎225局2830

11月青春劇場スケジュール
 3日＝唄う！青春劇場カラオケ大会。17時～18時。入場料1,000円。
 24日＝落語会（出演・桂夏丸）。11時～12時30分。入場料500円。
 いずれも会場はイオン厚木店。
 ⑥にぎわい処☎225局2840。

放送大学神奈川学習センターと県央8市との公開学習会
 11月17日、13時～16時40分。大和市渋谷学習センター。安全・安心をテーマにした黒岩知事の講演と市民グループの事例発表。定員15人。無料。⑥11月12日までに直接または電話で生涯学習課☎225局2512へ。申し込み順。

年末調整などに関する説明会
 11月14日、13時30分～16時。文化会館。年末調整の仕方、法定調書・給与支払報告書の作成など。事業所や事業主。無料。⑥年末調整・法定調書＝厚木税務署☎221局3261。給与支払報告書＝市民税課☎225局2011。

骨粗しょう症検診と予防教室
 12月6・8・10・14日、9時～16時のうち1時間（14日は13時～16時）。保健センターなど。骨密度測定と骨粗しょう症予防教室。市内在住の30歳以上の女性で①8月の検診を受診していない②現在治療を受けていない③の全てを満たす方350人。800円（市民税非課税世帯に属する方と生活保護法による被保護世帯に属する方は無料）。⑥ハガキに「骨粗しょう症検診申し込み」、希望日、〒住所、氏名、生年月日、年齢、電話番号を書き、11月19日（消印有効）までに〒243-0018中町1-4-3健康づくり課☎225局2201へ。抽選。

お口の寝たきり予防のために
 ①12月13日②18日、14時～15時30分。総合福祉センター。①歯の健康について歯科医師が講義②摂食嚥下に関する管理栄養士の講義と演習。市内在住で65歳以上の方30人（要支援・要介護の認定者を除く）。無料。⑥直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、

氏名、生年月日、電話番号を書き、11月30日（必着）までに〒243-8511高齢福祉課☎225局2388・☎221局1640へ。抽選。ウェブ申☎120482

一緒に始める禁煙生活
 たばこの害を知り、希望日からの禁煙を目指す（3カ月コース）。市内在住でたばこをやめようと思っている方。無料。⑥健康づくり課☎225局2201へ。申し込み順。⑦110967

知って得する生命保険の話し
 12月6日、19時～21時。勤労福祉センター。生命保険に関する講習。市内在住で在勤在学で18歳以上の方10人。無料。⑥電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、11月25日（必着）までに勤労者福祉サービスセンター☎227局5454・☎227局5405へ。抽選。ウェブ申☎120502

「パワハラのない職場づくり」セミナー
 12月3日、14時～16時。パートナーセンター。弁護士によるパワーハラスメントに関する講演。定員50人。無料。⑥電話またはファクスに氏名、電話番号を書き、11月29日（必着）までにかながわ労働センター県央支所☎296局7311・☎222局5375へ。申し込み順。

宅地建物取引業協会の相談会
 11月8日、10時～16時。プロミティあつぎビル（中町4-16-21）。専門家による法律や税金、不動産取引などの相談。弁護士相談は13時～16時（要予約）。無料。⑥宅地建物取引業協会県央支部☎224局6561。

七沢弁天の森キャンプ場 条例廃止に係る意見交換会
 11月9日、19時～20時。ヤングコミュニティセンター。⑥当日直接会場へ。⑦青少年課☎225局2581。

市民の皆さんから意見を募集
 ◆都市再生整備計画事後評価原案
 ☎〒243-8511企画政策課☎225局2450・☎225局3732・e-mail＝1100@city.atsugi.kanagawa.jp
 ◆（仮称）準用河川に係る河川管理施設等の構造に関する条例骨子
 ☎〒243-8511河川ふれあい課☎

11月の広報番組ガイド

11月1日～10日 ◆輝く厚木の若者たち
 若い力でまちに活気を与えようと活動する若者たちを紹介。

11月11日～20日 ◆未来を担う技術者たち
 ものづくりの現場で活躍している技術者を紹介。

CATV放送時間(15分)
 ①12時～
 ②19時30分～
 ③22時45分～

番組はホームページ動画配信
 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

225局2380・☎225局3027・e-mail＝5500@city.atsugi.kanagawa.jp
 ◆道路の構造の技術的基準等を定める条例骨子
 ☎〒243-8511道路管理課☎225局2300・☎221局0298・e-mail＝4050@city.atsugi.kanagawa.jp
 ◆下水道条例改正骨子
 ☎〒243-8511下水道総務課☎225局2362・☎222局8749・e-mail＝5200@city.atsugi.kanagawa.jp
 ◆都市公園条例改正骨子
 ◆都市緑地法に係る特別緑地保全地区の制度骨子
 ☎〒243-8511公園緑地課☎225局2412・☎225局3027・e-mail＝4800@city.atsugi.kanagawa.jp
 ◆企業等の立地促進等に関する条例改正骨子
 ☎〒243-8511産業振興課☎225局2832・☎223局7875・e-mail＝3900@city.atsugi.kanagawa.jp
 ■七沢弁天の森キャンプ場条例廃止（意向調査）
 ☎〒243-8511青少年課☎225局2581・☎224局9666・e-mail＝8700@city.atsugi.kanagawa.jp
 いずれも閲覧期間は11月1日～30日（■印は15日）。閲覧場所は、各課窓口、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、市ホームページ。応募資格は、市内在住で在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体。応募は11月30日（■印は15日。消印有効）までに閲覧場所にある応募用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで問い合わせ先へ。

南部学校給食センター 栄養士（臨時職員）募集
 《対象》管理栄養士または栄養士1人（勤務場所）南部学校給食

センター（船子602-7）《勤務日》月～金曜のうち4日間《勤務時間》8時30分～17時15分《雇用期間》平成25年1月4日～3月下旬（更新あり）《賃金》日額8,700円（交通費別、社会保険あり）《勤務内容》小学校給食に関わる事務や衛生管理など。⑥写真を貼った市販の履歴書に必要事項を書き、直接または郵送で11月13日（必着）までに〒243-0034船子602-7南部学校給食センター☎225局2652へ。面接あり。

秋の火災予防運動
 11月9日～15日は「消すまでは出ない行かない 離れない」をスローガンに秋の火災予防運動を実施します。生命、財産を守るため、火災予防に心掛けましょう。
 ◇住宅用火災警報器の設置を◇
 昨年の6月から設置が義務付けられています。⑦予防課☎223局9371。


11月は「児童虐待防止推進月間」
 児童虐待を防ぐためには、早期発見・対応が重要です。虐待を発見した時は、こども家庭課子育て家庭相談担当☎225局2244または厚木児童相談所☎224局1111（夜間、土・日曜、休日とは子ども家庭110番☎0466・84局7000またはかながわ子ども虐待ナビトライン☎0466・83局5500）へ。

ひとり親家庭などの医療費助成現況届
 助成を受給している方は11月30日までに現況届を提出してください。届け出には保険証などが必要です。児童扶養手当を受給している方は届け出の必要はありません。⑦こども家庭課☎225局2241。

あつぎ健康相談ダイヤル24
 さわやか1番 よいところ
 ☎0120-31-4156

教育委員会人事 委員長に難波氏を選出

10月1日付けで委員長に難波有三氏（58）、委員長職務代理者に新川勉氏（53）を選出しました。委員長の任期は平成25年9月30日までです。教育委員の山本玲子氏（67）、利根川勇氏（65）の任期満了に伴い、10月16日付けで馬嶋順子氏（56）、田口孝男氏（52）が、議会の同意を得て教育委員に任命されました。

 難波有三氏
 馬嶋順子氏
 田口孝男氏

⑥教育総務課☎225局2600

インターネットモニターからの意見を紹介

ホットメール
 Hot E Mail

10月1日号広報あつぎを読んで◆厚木でゴボウを育てているとは知らなかった。朝市に行ってみようと思った/30代女性・岡田◆SNSの活用は今後の行政にとって重要なポイントになってくると思う/20代男性・愛甲◆自治会に加入することで権のつながりができる。もっと加入促進すべき/40代男性・みはる野◆ごみはとて身近で継続的に関わらなければならぬ問題。改善すべきところがたくさんある/60代女性・妻田西◆秋らしいイベントが盛りだくさんで、行ってみたい気持ちになった/40代女性・水引

厚木市 インターネットモニター結果 検索

編集後記

4カ月にわたって取材したチームキャラフル（4・5面）。終盤では次の活動に向けた議論が白熱していました。代表の内田さんは、プロジェクトメンバーのサポートに徹していたため、もどかしさも感じていた様子。うまく助言できずに力不足を感じることもあったようです。次のイベントは自分たちで手掛け、「チームとしてさらに成長を」と意気込んでいます。どんなプロジェクトになるのか、今後の活動に注目です。（清水）

タウンガイド

至 平塚 至 桑野

11月		12月	
日	月	日	月
4	5	2	3
11	12	9	10
18	19	16	17
25	26	23	24
		30	31

マイタウンクラブ
 印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「ウェブ申」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。
<http://www.mytownclub.com>
 [携帯電話は末尾に/cpを]

古民家セミナー ～藤沢の古民家を見る～

12月12日、10時～15時。市役所本庁舎集合。講師の話聞きながら江戸時代の古民家を見学。無料。
 ⑩11月16日までに郷土資料館 ☎225局2515へ。抽選。ウェブ申 ☎120366

ふるさと芸能発表会

11月23日、12時30分～16時30分。文化会館。県人会による郷土色豊かな芸能・民謡などの公演と抽選会。無料。⑩当日直接会場へ。⑩市民協働推進課 ☎225局2101。

からだいきいき運動教室

① **Aコース** = 12月7日～3月1日の金曜（12月27日は木曜、1月4日を除く全12回）。14時～15時50分。東町スポーツセンター。② **Bコース** = 12月5日～2月27日の水曜（1月2日を除く全12回）。10時～12時。ぼうさいの丘公園（温水783-1）。③ **Cコース** = 12月4日～2月26日の火曜（12月26日、1月16日、2月13日は水曜。1月1日を除く全12回）。10時～12時。荻野運動公園（中荻野1500）。④ **Dコース** = 12月7日～

3月1日の金曜（12月27日は木曜、1月4日を除く全12回）。10時～11時50分。東町スポーツセンター。
 ⑤ **Eコース** = 12月12日～3月6日の水曜（1月2日を除く全12回）。14時～15時50分。ヤングコミュニティセンター。

いずれも定員は30人。対象は、市内在住で65歳以上の方（要支援・要介護の認定者を除く）。無料。⑩直接、電話またはハガキ、ファクスに教室、コース名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、11月15日（必着）までに〒243-8511 高齢福祉課 ☎225局2388・☎221局1640へ。抽選（A～Cコースは未受講者優先）。ウェブ申 ☎120475 ☎120476 ☎120477 ☎120478 ☎120479

健康アップ地区運動教室

12月7・11・19・25日、1月8・15・22・29日、2月5・12・19・26日、3月6・12・19日（全15回）。9時30分～11時30分。依知南公民館（下依知406-1）。チューブを使った体操とエアロビクス。市内在住の昭和22年4月2日～48年4月1日生まれで介護保険サービスを利用していない方25人。無料。⑩11月21日までに

健康づくり課 ☎225局2201へ。抽選。ウェブ申 ☎120480

スポーツ指導者セミナー

12月8日、14時～15時30分。荻野運動公園。「楽しく走れる、ランニングのススメ！」をテーマに、24時間テレビでおなじみの坂本雄次さんが講演。市内在住在勤在学の方150人（中学生以上）。⑩ハガキ、ファクス、Eメールに「スポーツ指導者セミナー希望」、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、11月15日（必着）までに〒243-0039 温水西1-27-1 体育協会 ☎247局7212・☎248局7151・e-mail = info@atsugi-taikyo.or.jpへ。抽選。ウェブ申 ☎120493

月例マラソン参加者募集

11月11日、12月16日、2月17日、3月10日。荻野運動公園《部門とスタート時間》小学生の部（親子での参加可）= 1～4年生（1*₀）は9時40分、5・6年生（1.5*₀）は9時50分。中学生の部（3*₀）= 10時20分。一般の部 = 3*₀は10時、5*₀は10時40分。市内在住在勤在学の方。無料。⑩当日各部門のスタートの10分前までに会場受け付けへ。⑩体育協会 ☎247局7212。

市斎場施設見学会

11月18日、①9時30分～②11時～③13時30分。厚木市斎場（下古沢548）。現地集合。施設の見学と葬儀の説明。定員各回50人。無料。⑩11月1日～14日に厚木市斎場 ☎281局8595へ。申し込み順。

あつぎヒューマンライツフェスタ

12月8日、13時30分～15時30分。文化会館。作家・保護司の大沼えり子さんの講演「一人一人が輝いて」など。県内在住在勤在学の方250人。無料。手話通訳・託児あり（1歳～小学3年生）。⑩電話またはハガキ、ファクスに講演会名、〒住所、氏名（ふりがな）、電話番号、託児の有無（子どもの氏名・年齢）を書き、11月20日（必着）までに〒243-0018 中町1-4-3 人権男女参画課 ☎225局2215・☎223局8432へ。

抽選。ウェブ申 ☎120503

森林セラピー

《七沢》11月14日、9時30分～15時。東丹沢七沢観光案内所（七沢751-1）集合。鐘ヶ嶽ハイキングコースを歩く《飯山》11月20日、9時30分～14時30分。飯山温泉ふるさとの宿（飯山5547）集合。飯山白山森林公園を歩く。定員各20人。1,000円（資料・保険・入浴料）。⑩それぞれ前日までに東丹沢七沢観光案内所 ☎248局1102へ。申し込み順。

歴史探訪と温泉

11月13日、9時30分～15時（雨天中止）。東丹沢七沢観光案内所集合。紅葉の奥七沢で歴史を学び、パワースポットと温泉で心身を癒やす。市内在住在勤の方30人。1,000円（資料・保険・入浴料）。⑩11月8日までに東丹沢七沢観光案内所 ☎248局1102へ。申し込み順。

健康づくり大学

《飯山》11月8日、9時30分～14時30分。飯山温泉元湯旅館（飯山4916）集合。飯山温泉郷周辺での運動と旅館での食事・入浴《七沢》11月21日、9時30分～15時。東丹沢七沢観光案内所集合。東丹沢七沢温泉郷周辺のノルディックウォーキングと七沢温泉元湯玉川館での食事・入浴。3,000円（食事・入浴料）。定員各40人。⑩それぞれ4日前までに東丹沢七沢観光案内所 ☎248局1102へ。申し込み順。

健康あつぎ推進リーダーの教室

◆リンパ体操教室

12月5日、10時～11時30分。厚木南公民館（旭町3-14-4）。リンパの流れを良くする体操を学ぶ。市内在住の方30人。無料。☎120556

◆秋の森林癒やし体験

11月28日、9時30分～12時30分。尼寺老人憩の家（飯山4742）集合。案内人と自然を満喫し、ストレス緩和と生活習慣病予防を図る。市内在住の18歳以上の方30人。無料。雨天中止。☎120491

いずれも申し込みは11月5日から健康づくり課 ☎225局2201へ。申し込み順。

2012 秋の自然を満喫しよう ☎120452

あつぎアウトドアフェスタ

厚木のアウトドアの楽しみ方を一挙に紹介するイベントを開催します。趣向の異なる4つのエリアが、皆さんをお待ちしています。

日時 11月23・24日 10時～16時 **会場** 県立七沢森林公園

【キャンピングエリア】 キャンピングカーとキャンプ用品の実用的展示・試用／ダッチオーブン、グリルなどでの調理レッスン（予約制）
【冒険エリア】 チェーンソーアートのデモンストレーション／立ち木の切り倒し実演／丸太切り／まき割り体験／スポーツ綱渡り体験など
【森林セラピーエリア】 ノルディックフィットネスウォークレッスン／トレイルランニングレッスン／森の中の癒やしゾーン設置
【その他】 マウンテンバイク・ロードバイク試乗体験／あつぎO'É'Cフードなどの飲食ブース

☎市観光協会 ☎228局1131

第2回 議会報告会

市民の皆さんと情報を共有し、開かれた議会を推進するため、厚木市議会主催の議会報告会を開催します。お気軽にご参加ください。

【日時・会場】
 ①11月14日 13時30分～15時 勤労福祉センター・大会議室 ※駐車スペースが少ないため、公共交通機関をご利用ください。
 ②11月17日 18時30分～20時 ぼうさいの丘公園・講義室

【内容】 議会報告（平成23年度決算の審査概要）と意見交換。
 ※両日とも同じ内容を予定しています。

【申し込み】 当日直接会場へ。

☎議会総務課 ☎225局2701

5月に実施した議会報告会の様子（荻野運動公園）

11.10 土 / 11.11 日

本厚木駅周辺 10時30分 START

10日 夜会・11日 フィナーレ (厚木公園) 17時~

にぎわい爆発
フェスティバル

◆あつぎグルメフェア
10時30分~18時30分。J 厚木公園。
世界各地のおいしい料理が屋台になって大集合。

◆まち元気物産フェア
10時30分~16時30分。J 厚木中央公園。
厚木と全国の物産が大集結。

◆あつぎアート楽市
11時~17時。D サンパーク。
手作りアートの青空市。
◆印の問い合わせは商業にぎわい課
☎225局2840

■第31回あつぎ技能祭
10時30分~16時30分。J 厚木中央公園。
包丁研ぎ / 技能実演・技能体験など。
関連業振興課 ☎225局2585

■ブルーウェーブバザー
10時30分~16時30分。J 厚木中央公園。
被災地支援の掘り出し物バザー。
関連厚木商工会議所 ☎221局2153

■第22回総合福祉センターフェスティバル
10時~16時。E 総合福祉センター。
ボランティア活動紹介など。
関連福祉総務課 ☎225局2525

■パートナーフェスタ2012 (9・10日)
9時~16時。E パートナーセンター。
利用者による展示・発表など。
関連人権男女参画課 ☎225局2454

■あさひ公園まつり
10時~16時。L あさひ公園。
模擬店、子どもが楽しめるイベントなど。
関連厚木商工会議所 ☎221局2151

■第3回あつぎ消防団ふれあい広場 (11日)
10時30分~16時30分。市役所西側駐車場。
消防車の展示、体験コーナーなど。
関連消防総務課 ☎225局2881

あつぎ国際
大道芸

厚木の街が劇場になってあなたをお出迎え。曲芸、マジック、
パントマイム...あなたのお気に入りの大道芸人は誰?



お得な
クーポン付き
「公式ガイドブック」
書店・コンビニで
発売中
定価100円



あつぎ国際大道芸

facebookもチェック!

関連商業にぎわい課 ☎225局2840